

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

本草八味地黄丸料エキス錠-H

「八味地黄丸」は、中国の古典医学書『金匱要略』に記載されている腎虚に用いる漢方薬で別名を「腎気丸」ともいいます。別名のとおり、なかなか疲れがとれず、「夜間に何度もトイレに行きたくなる」、「残尿感」、「軽い尿漏れ」、「腰が痛い」などの特に腎泌尿生殖器系及び腰部以下の運動機能低下のような症状がある時に用いられています。

本草八味地黄丸料エキス錠-Hは漢方処方「八味地黄丸」を煎じて「料」とし、服用する不便をなくし、簡便に服用出来るようにエキス錠とした製品です。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
次の人は服用しないこと

- (1)胃腸の弱い人。
- (2)下痢しやすい人。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人。
 - (4)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、腹痛
その他	動悸、のぼせ、口唇・舌のしびれ

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(裏面もお読み下さい)

効能・効果

体力中等度以下で、疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で、ときに口渴があるものの次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善（肩こり、頭重、耳鳴り）、軽い尿漏れ

用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に服用すること。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	3錠	3回
7歳以上15歳未満	2錠	
7歳未満	服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量

9錠〔大人1日服用量〕中、次の成分を含有する。

成分	9錠中
八味地黄丸エキス（1/2量） 〔ジ オ ウ……………2.5g ブクリヨウ……………1.5g〕 〔サンシュユ……………1.5g ボタンピ……………1.5g〕 〔サンヤク……………1.5g ケ イ ヒ……………0.5g〕 〔タクシャ……………1.5g ブ シ 末……………0.5g〕 より抽出。	2.2g

添加物として、セルロース、CMC-Ca、炭酸Ca、メタケイ酸アルミン酸Mg、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mgを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4)使用期限をすぎたものは服用しないこと。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

株式会社エーエフシー 相談窓口

〒422-8027 静岡市駿河区豊田2丁目4番3号

電話：0120-874047（フリーダイヤル）

受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

【副作用被害救済制度のお問い合わせ先】

（独）医薬品医療機器総合機構

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

発売元

株式会社エーエフシー

静岡市駿河区豊田2丁目4番3号

製造販売元

本草製薬株式会社

名古屋市天白区古川町125番地